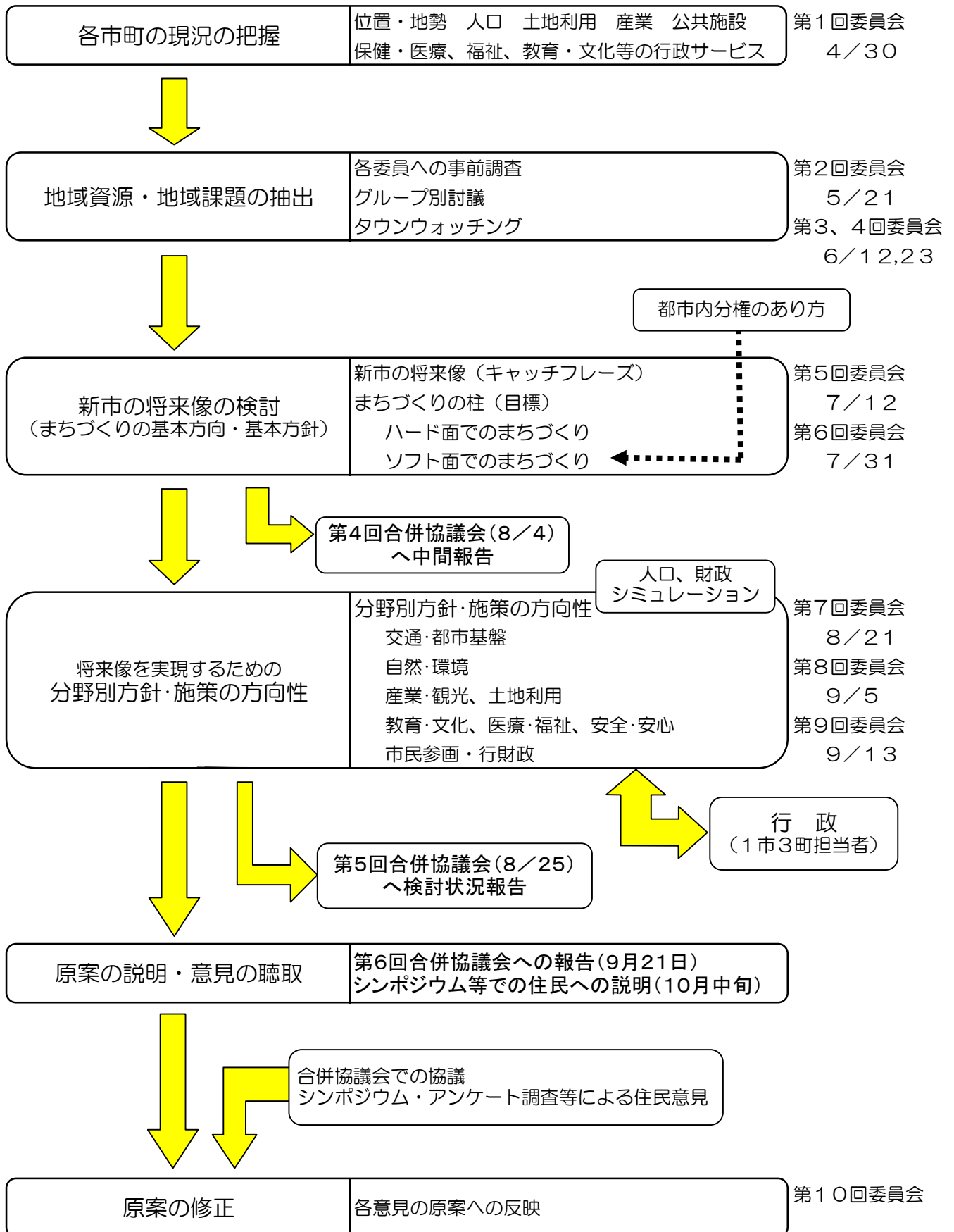


まちづくりの将来ビジョン策定の流れ（案）



「まちづくりの将来ビジョン」報告書の項目別作業方針について(案)

2004/8/21

報告書の構成	作業方針			備考
	第7回	第8回	第9回	
I 策定にあたって				
策定の趣旨		報告確認		
策定の方針		報告確認		
II 合併の効果				
合併の効果		検討	報告確認	
III 新市の概況				
位置と地勢		報告確認		
面積		報告確認		
人口・世帯		報告確認		
土地利用		報告確認		
道路・交通		報告確認		
産業		報告確認		
地域特性、資源		報告確認		委員会で検討済
まちづくりの課題		報告確認		委員会で検討済
IV 新市のまちづくりの基本方向(基本方針)				
新市の将来像		検討	検討	キャッチフレーズ
将来都市構造図		検討	報告確認	
まちづくりの柱(目標)	検討 (説明文)	検討 (柱表現)	報告確認	5本の柱(目標)
主要指標の見通し			報告確認	人口関係
V 分野別方針・施策の方向性				
I	交通	検討	報告確認	
	都市基盤	検討	報告確認	
II	自然・環境	検討	報告確認	
III	産業・観光	検討	報告確認	
	土地利用	検討	報告確認	
IV	教育・文化	検討	報告確認	
	健康・福祉	検討	報告確認	
	安全・安心	検討	報告確認	
V	参加・協働	検討	報告確認	
	行財政	検討	報告確認	
VI 財政計画				
財政シミュレーション	報告確認 (方針)		報告確認 (結果)	合併する場合、合併しない場合

※ 検討 … グループ別討議等により検討する

※ 報告確認 … 事務局・コンサルの作業結果の報告を委員会で確認する

財政シミュレーションの基本的な考え方について

1. 目的

相模原市、城山町、津久井町、相模湖町の1市3町が、将来、単独で財政運営を行う場合（合併しない場合）と合併して一つの自治体として財政運営を行う場合（合併する場合）のそれぞれについて財政シミュレーションを行い、相模原・津久井地域合併協議会での財政的影響に関する検討に資することを目的とする。

2. 推計対象とする会計

一般会計を対象とする。

3. 推計期間

平成 18 年度から平成 32 年度までの 15 年間とする。

4. 財政推計の考え方(歳入及び歳出の条件設定について)

- (1) 現行の制度が変わらないものとして推計するものとする。
- (2) 1市3町の人口推計を行い、これを基に税収見込みなどを推計する。
- (3) 基礎となる数値は、各市町の平成 15 年度決算見込み額を使用する。
- (4) 各市町の歳入歳出の実績値を参考に「平均伸び率」などで推計する。
- (5) (4)で推計が困難な場合などは、国の推計値（国が地方に拠出している財源など） 神奈川県・他市町村の推計値 その他社会経済動向を参考に推計する。
- (6) 合併により 3 町が中核市になることに伴う財政影響額を考慮し推計する。
- (7) 合併に伴う事務事業の一元化作業に伴う財政影響額を考慮し推計する。
- (8) 現段階で予定されている大規模事業の事業費についても考慮の上推計する。